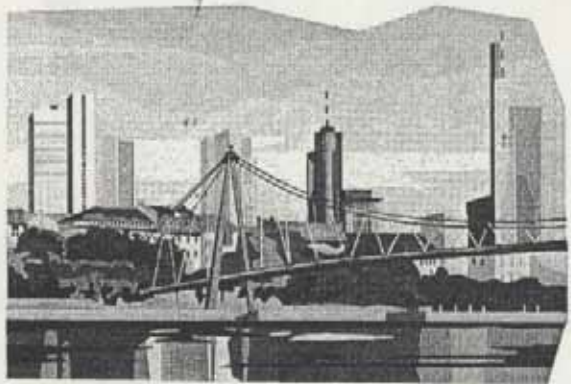




皆さん、こんにちは。暑い夏が続いていますが、いかががお過ごしでしょうか。さて、先月の「耕平さんかわら版」は選挙の関係でお休みさせて頂きましたが、今月から再開させて頂きます。七月二十九日の参議院選挙は与野党逆転という結果となり、衆議院の第一党は自民党、参議院の第一党は民主党という「衆参ねじれ構造」となりました。このため、いかなる法案も与野党の話し合いなしでは、スナリ成立しないこととなりました。言わば、国会が本来の「言論の府」に戻ったとも言えます。

「衆参ねじれ構造」になっ
ていなくても、そもそも話し
合いをするのが国会の仕事。
仮に衆参とも第一党が同じ党
であっても、第二党や少数会
派の主張も聞いて落とし所を
探すのが本来の姿です。どう
してもまとまらなければ、た
まには強行採決という手段も
止むを得ないかもしれませぬ。
しかし、できれば話し合いで
通常の採決ができる環境を整
えるのが腕の見せ所です。
ところが、今年の通常国会
では、あれこれ合わせると合
計二十数回の強行採決、通常
とは異なる審議や手続きが行
われました。異常な状況でし
た。
この状況を見て、今回の参
議院選挙では有権者の皆様が
「国会を正常化する」という
判断をされたようです。民意
の妙、有権者の皆様の良識を
見せて頂いたような気がしま
す。これほど見事に、選挙に
よって異常な事態を解決した
先例はないでしょう。



国会は「言論の府」である
べきだという民意、有権者の
皆様のご判断にお応えするべ
く、秋の国会では責任の重さ
を認識し、しっかりと職責を
果たしたいと思えます。
安倍首相率いる自民党、小
沢代表率いる民主党を中心に、
国民の皆様にご納得頂ける論
戦を展開できるように頑張り
ます。

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouheleoh-KouheI.org



かわら版執筆者・大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行で18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の党王山に事務所を開き、故郷・党王山の地域振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ6年目。日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。今年の暮れには、「第3回・弘法さんを語る会」を開催する予定です。乞うご期待。

